流山コース 『子どもたちに知ってもらおう~都心から一番近い森のまち」流山の魅力発見!!~』

日 於

流山の魅力を探り、子ども向けのPRを考える

コース紹介

流山と言えば、働きながら子育てしやすいパパとママ思いな街。 でも、親たちだけでなく、子どもたちにとっても遊んで、学んで、楽しめる魅力がいっぱいの街。最近、子育て世代に人気の「都心から一番近い森のまち」の魅力を子どもたちにも伝えたい!流山コースでは子ども向けのPRを考えます。

フィールドワーク

時間	行き先	備考
9:45 ~ 10:15	バス移動	麗澤大学出発→流山市水道局着
10:15 ~ 11:00	市野谷の森探検ツアー (イメージ)	NPOさとやま・恵良さんのガイドによる市野谷の森探検ツアー
11:00 ~ 11:50	流山おおたかの森駅周辺	流山おおたかの森駅まで徒歩で移動し ながら周辺フィールドワーク
11:50 ~ 12:40	昼食	SC内にレストラン・駅前にフード コートあり
12:40 ~ 13:00	バス移動	流山おおたかの森駅東口・ミニス トップ前出発→流山駅前着
13:00 ~ 15:10	流山本町界隈	体験型宝探しゲーム「流山ねずみ小僧伝説」に参加しながら本町界隈フィールドワーク「喜望石」を発見し、「万華鏡ギャラリー見世蔵」に報告
15:10 ~ 15:20	徒歩移動	流山駅前まで徒歩で移動
15:20 ~ 16:00	バス移動	流山駅前出発→麗澤大学着

Aチーム

『NPOで活性化!』

メンバー

東洋学園大学3 年藤田 さん江戸川大学2 年高岩 さん東洋学園大学2 年杉浦 さん

発表内容

子どもや学生が地域や市民活動に関わるきっかけづくりと地域課題解決のため NPOを設立する。福祉、自然体験、ボランティア活動等を通して、子どもや学生 が市民活動や地域に参加しやすくなり地域課題解決につながる仕組みを提案した。



流山の問題点

- 学生が市民活動に参加しにくい
- 流山本町近辺の独居老人
- 教育分野の多様性がない



目的

流山市の学生・子どもが地域に関わるき っかけをつくる



NPOを設立したと仮定

活動内容

- 福祉をサポート
- 子供向けの自然体験の提案 子供も一体となったボランティア活動
- 参加した学生の功績を紹介



学生とお年寄りのシェアハウス

- 学生を下宿させて貰い、お年寄りの身の回りの世話をする
- コミュニティハウス(料理教室、生け花、 書道や囲碁教室など)





- ナイトハイク
- 野鳥観察
- 農業体験







まとめ NPOを設立することによって

- 市民活動に参加しやすくなる
- 学生が地域に参加する
- 子供たちの学習意欲の向上
- 子供たちがやがて市民活動に参加するようになる



溝 評

江戸川大学 濱田教授 流山Aコースは、お年寄りとのシェアハウスなど学生ならではの発想で学生と地域をつなげる仕組みの提案となっていた。すべてNPOで解決するのではなく、さらに具体的なアクションの提案があるとなお良かった。

意見交換

参加学生

- ・ 若者とお年寄りのシェアハウスの案は驚いたが、反対する ・ 自治体もあるのでは?
- ・ NPOではなくサークルでも実現できるのでは?
- 自分たちがやろうと思わないことはできないので、方向性 ・ は良かった。他大学との間で接点ができれば、いろんなこ とができるかも。
- 情熱が伝わってきた。
- · NPOに対する具体性があるとなお良い。

Bチーム

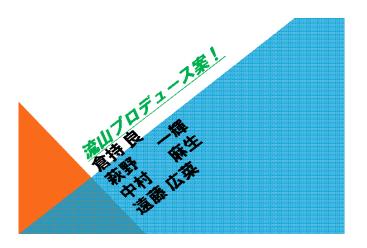
『暮らしたい四季のまち』

メンバー

東洋学園大学3 年倉持さん江戸川大学3 年中村さん聖徳大学1 年遠藤さん日本橋学館大学2 年萩野さん

発表内容

『都心から一番近い森のまち』というイメージをいかし、流山の自然二四季で彩美しいまちとしてPRする。具体的なPR方法として、木製のガードレールの設置や、四季折々のイベント、TXの車内CMの実施を提案した。



都心から一番近い森のまち

暮らしたい四季の街





流山グリーンチェーン戦略

▼緑の連鎖で街の価値を向上

道路沿いの住宅に木々を植えることによって、<u>良好な景観</u>をつくるとともに<u>地球温暖化防止</u>にもつながる! ローンの金利を優遇 生垣を設置する際の補助金の限度額UP

流山おおたかの森駅前



流山おおたかの森S・C



小中一貫校開設 児童施設が増える

学校に通う児童の通学路を 安全に楽しく!

通学路に木製ガードレール



四季の街

- ▼彩り豊かな街 季節によって変わる街路樹
- ▼四季のイベントを開催 桜カフェ、オープンガーデン、花火 大会、

秋の散策会、イルミネーション

春



夏



秋



冬



宣伝方法

流山を通る路線の車内でCMをながす

町中に太陽光で動くディスプレイを設置し、

映像を流す

Ж

この物語はフィクションです。 物語に出てくる登場人物とは なんの関係もありません。 (念のため)

講評

江戸川大学 濱田教授 学生ならではの発想でまちを変える様々なしかけを提案していた。さらに具体的なアクションの提案があると、より一層良い 発表となった。

流山市

車内広告にかかる費用は非常に高いため、予算も含めて検討する必要がある。

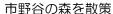
意見交換

参加学生

・最後のCMの劇は具体性があり良かった

活動の様子







白熱した議論